

編修趣意書

教育基本法との対照表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-41	高等学校	芸術科	書道Ⅲ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅲ・703	書Ⅲ		

1. 編修の基本方針

「自分の書」を深める。

生徒が書に愛着をもち、「自分の書」を深めることができる教科書を目ざし、次の点を柱に編修しました。

感じる

鑑賞・臨書教材では、原跡に迫る高精細な図版を掲載しています。「本物」から感じ取ることのできる書の真髄は、生徒の感性を豊かにし、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばします。

学ぶ

古典がもつ個性豊かな表情を味わいながら、創造的な表現を探究できる構成を目ざしました。学びやすさを追求し、達成感をもって取り組める構成は、生徒の主体的な学習姿勢を育成します。

考える

個性豊かで幅広く網羅された古典の鑑賞や臨書を通して、個性的な書の表現や構成美について考え、多角的に理解を深めます。

編修の留意点

1 書道が好きになる

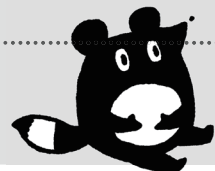
個性豊かな書の能力を育む教科書を目ざし、興味・関心などに応じて生徒が課題を選択し、主体的に学ぶことで自分の書に向き合うことができるよう構成しました。

2 個性豊かな表現と鑑賞の力が身につく

「書道Ⅰ・Ⅱ」で培った能力を基礎とし、厳選された古典教材を学習することによって創造の根源となる感性を磨き、表現力と鑑賞力を相乗的に培いながら自己表現へと展開できる内容を目ざしました。

3 書文化への関心を高め、学びを広げる

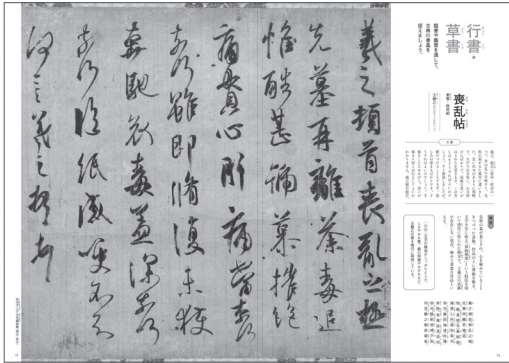
書の伝統と文化について、さまざまな角度からアプローチすることで、その理解を深めて文化に親しみ、次世代へ継承していく態度を育成することを目ざしました。



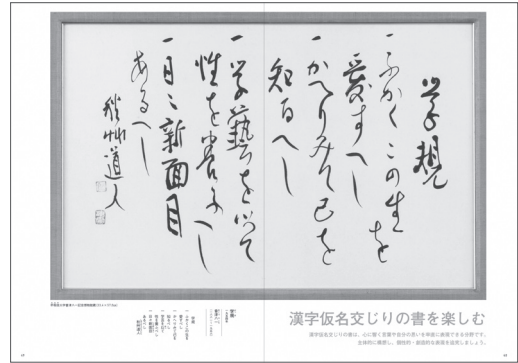
1 書道が好きになる

●「本物」にこだわりました。

古典・古筆の教材は、生徒の感性を高める大切な教材であるため、極めて鮮明で臨場感あふれる高精細の図版を掲載しています。さらに、卷子本など、書かれた状態そのままを掲載し、教材の価値を高めるよう追求しました。色調においても実物との校正を繰り返し、原跡に近づくよう追求しました。



p.16-17「喪乱帖」



p.48-49「漢字仮名交じりの書を楽しむ」



p.30-31「仮名の書の多様性を楽しむ」

●創造的な表現を目ざす教材を取り入れました。

「書道Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」で習得した知識や技能を総合的に活用する創作教材を、各領域の最後に配置しています。生徒が個性豊かな表現を工夫できるよう、多様な手法で表現した作品を掲載しました。



p.26-27「漢文を書こう」



p.44-45「古今和歌集を書こう」

2 個性豊かな表現と鑑賞の力が身につく

◎どのような特徴や書風を意識して書くかを、ひと目で分かる構成にしました。

基本の教材は、次のような要素で構成しました。今回の学習指導要領改訂で新設された〔共通事項〕に配慮した構成を実現し、表現と鑑賞の基礎的な能力を着実に身につけることができます。

p.6-7「散氏盤／天発神識碑」

臨書参考
後世の書家が臨書した文字を提示し、形臨から意臨・背臨、さらに創作という展開を意識できるようにしました。

特徴
その書に特有の書風や字形・用筆を明示しました。

原器図版
拓本だけでなく、青銅器の全景の図版などを掲載することで、生徒がより古典に親しむことができるよう配慮しました。

概要
古典の背景やエピソードを記しました。

古典図版
書体や書風がわかりやすく表れた部分を掲載しました。

3 書文化への関心を高め、学びを広げる

◎書文化や芸術への関心を高める魅力的な教材が満載です。

書の歴史とその背景となる書文化の関連について、いっそう理解を深められる教材を提示しました。生徒の視野を広げ、興味・関心を喚起できる内容を厳選して掲載しています。

p.54-55「文士の手紙」

p.62-63「中国・日本書道史略年表」

2. 対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
書論とは		○ 書道を通して幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うために、鑑賞の切り口として「書論」を取り上げ、生徒の知的好奇心を刺激し、興味・関心をもって学習に取り組めるよう配慮した。【第1号】	表2、p.1
漢字の書	漢字の書の多様性を楽しむ	○ 時代を超えて受け継がれてきた書の古典を知り、その書き手の感性や古典が持つ多様性に触れることで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うよう配慮した。【第2号】 ○ 空海筆の崔子玉座右銘断簡を鑑賞することにより、唐代の優れた文化が我が国に及ぼした影響に思いをはせ、古来盛んであった相互の関係についても知識を深めながら、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養うよう配慮した。【第5号】	p.4-5
	1 篆書 散氏盤／天発神誦碑 中山王罍方壺／ 篆書崔子玉座右銘四屏	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、個性豊かなさまざまな篆書の古典を教材として取り上げた。また、原器の図版を掲載するなど、さまざまな角度から鑑賞ができるよう配慮した。【第1号】 ○ 伝統と文化を尊重する態度を養うために、金文・石碑・紙本といった、多種多様な素材の古典を掲載した。【第5号】	p.6-9
	2 隷書 礼器碑／銀雀山前漢簡／敦煌漢簡 張遷碑／開通褒斜道刻石 隷書崔子玉座右銘／隷書七言聯／ 題普邪之廬壁上	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、個性豊かなさまざまな隷書の古典を教材として取り上げた。また、竹簡の拡大図版を掲載するなど、さまざまな角度から鑑賞ができるよう配慮した。【第1号】 ○ 古代文字を紹介することで、古代社会における文字の役割と個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第2号】	p.10-15
	3 行書・草書 喪乱帖 草書諸上座帖卷／李嶠雜詠／ 伊都内親王願文 長条福を味わう	○ 我が国に伝来した王羲之の書や、それを基に花開いた平安朝の書、また唐代や明清代を代表する多種多様な古典を掲載することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第5号】 ○ 明清代の個性豊かな行草書作品をまとめて紹介することで、個人の価値を尊重し、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うよう配慮した。【第2号】	p.16-21
	4 楷書 玄秘塔碑／楷書前後出師表卷／ 鄭長猷造像記	○ 漢字の書に関する知識が幅広く身に付くよう、個性豊かなさまざまな楷書の古典を教材として取り上げた。【第1号】	p.22-23
5 創作する 漢字の書作品を味わう 漢文を書こう 【コラム】書論の背景 王羲之	○ 生徒個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自らの価値観を尊重して創造性を培うことができるよう、現代を代表する作家自らの感性や意図に応じた表現が工夫された現代の多様な作例を提示した。【第2号】 ○ 創作活動では、漢文を題材にすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うよう配慮した。【第1号】 ○ コラムでは、書論にまつわる逸話を取り上げ、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うよう配慮した。【第1号】	p.24-28	
仮名の書	仮名の書の多様性を楽しむ	○ 千年という長い歴史を超えて大切に受け継がれてきた古筆を、拡大図版で鑑賞することにより、書き手の感性を感じ取りながら、生徒が個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うよう配慮した。【第2号】	p.30-31
	1 平安時代中・後期 字体の違いを捉えよう 秋萩帖／升色紙 桂宮本万葉集／十五番歌合／ 卷子本古今和歌集 書風の個性を捉えよう 曼殊院本古今和歌集／一条摂政集 【コラム】藤原家 能書の系譜	○ 草仮名から女手への変遷を想像できる古筆を掲載することで、漢字から仮名が成立した過程における先人の創意工夫を知り、伝統と文化を尊重しながらも、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うよう配慮した。【第2号】 ○ 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培うために、書風や書写形式、表装の異なるさまざまな古筆を教材とした。【第2号】 ○ 藤原行成を祖とする尊尊寺流の系譜を教材にすることで、受け継がれていく伝統の中で、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.32-35 p.36-39
	2 鎌倉時代以降 際立つ個性を楽しもう 更級日記／源氏物語抄／和歌一首	○ 書き手の個性が際立つ多様な作品を掲載することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うよう配慮した。【第2号】	p.40-41
3 創作する 仮名の書作品を味わう 古今和歌集を書こう 【コラム】書論の背景 松花堂昭乗	○ 生徒の個性を尊重し、自らの価値観を尊重して創造性を培うことができるよう、現代を代表する作家自らの感性や意図に応じた表現を構想し、工夫してきた教材として、多様な作例を提示した。【第2号】 ○ 創作活動では、古今和歌集を題材にすることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うよう配慮した。【第1号】 ○ 四季の歌を取り上げることで、自然や四季の移ろいの美しさを鋭敏に捉え、それらを大切にしてきた日本文化の有り様を再発見させるとともに、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うよう配慮した。【第4号】 ○ コラムでは、書論にまつわる逸話を取り上げ、書に限定されない幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うよう配慮した。【第1号】	p.42-46	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当頁
漢字 仮名 交じり の書	漢字仮名交じりの書を楽しむ	○ 會津八一の学規を鑑賞することによって、書は心に響く言葉や思いを表現できることを自覚し、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.48-49
	漢字仮名交じりの書作品を味わう 未来への決意を書こう 文士の手紙 生活の中の書 【コラム】書論を書いてみよう	○ 生徒の個性を尊重し、自らの価値観を基にして創造性を培うことができるよう、現代を代表する作家自らの感興や意図に応じた表現を構想し、工夫した例として、多様な作品を提示した。【第2号】 ○ これまでに学習してきたことを生かし、未来への決意を表現させることで、生徒に幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うよう配慮した。【第1号】 ○ 生活の中の書の作例によって、習得した創造性を生活に生かす具体的なイメージを与えるとともに、自主及び自律の精神を養い、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うよう配慮した。【第2号】	p.50-57
篆刻・ 刻字	篆刻を楽しむ 刻字を楽しむ	○ 漢印の模刻に挑戦することで、日中両国の伝統と文化が受け継がれていることを示し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う意識がもてるよう配慮した。【第5号】 ○ 街に息づく刻字を示すことにより、日常的に見られる印や看板等が書道の分野の一つであることを再確認し、社会の一員として、公共の精神に基づき、その発展に寄与する態度を養うよう配慮した。【第3号】	p.58-61
書道史	中国・日本書道史略年表	○ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、日本と中国の歴史的な文化交流を示しながら、両国で書かれた書を紹介した。【第5号】	p.62-65

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

他教科の学習との関連を図りました。

- 古文・漢文や歴史の学習、他の芸術分野との関連性にもふれ、総合的に知識と感性を高められるようにしています。「中国・日本書道史略年表」における日中交流史や、川端康成ら近現代作家の書簡に見る書など、歴史・美術・工芸・文学といった他教科との関連性を図り、総合的な知識として書道の理解が深まるよう配慮しました。

すべての生徒にとって使いやすく、わかりやすい教科書を実現しました。

- 特別支援教育の専門家から校閲を受け、情報を精選し、大切なことがひと目で分かる、すっきりとしたレイアウトを実現しました。
- カラーユニバーサルデザインの専門家から校閲を受け、文字や図表などに複数の色を用いるときは、誰もが明確に識別できる色の組み合わせになるよう配慮しました。

編修趣意書

学習指導要領との対照表、配当授業時数表

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-41	高等学校	芸術科	書道Ⅲ	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
38・光村	書Ⅲ・703	書Ⅲ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

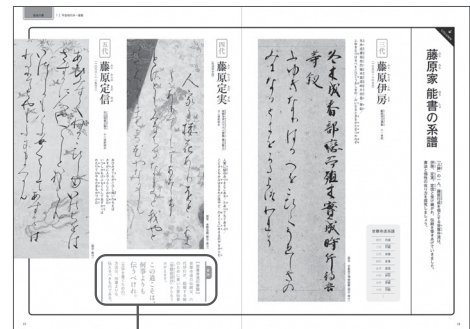
1 書の理解を深める「書論」

●書の芸術性について多角的に考える

書論を通して、書の芸術性について多角的に考え、書のよさや美しさを味わって深く捉えることができるよう配慮しました。各分野の鑑賞教材やコラムでは、書の伝統への理解を深化させる一つの観点として、書体や作品に関する書論を掲載し、生徒の知的好奇心を高められる構成としました。



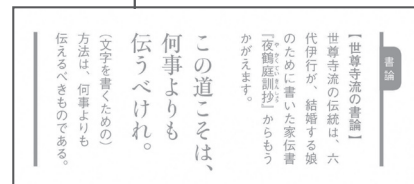
表2-p.1「書論とは」



p.38-39「藤原家 能書の系譜」



p.28、46「書論の背景」



2 学びを深める古典群

◎古典教材のラインナップが充実し、多様な古典に親しむことができます。

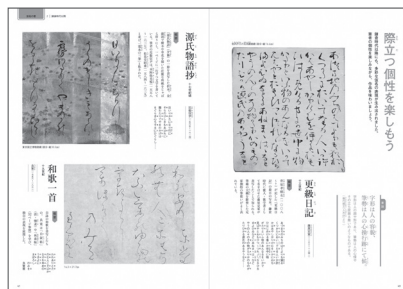
教材の選定においては、「書道Ⅰ・Ⅱ」で学習した内容をさらに発展させ、さまざまな時代・書風の作品を幅広く取り上げ、生徒の視野を広げて表現の多様性を実感できるように配慮しています。古典・古筆は、諸本の中から最良のものを選び、その書に特有の書風や字形・用筆が見られる部分を採用しました。

掲載古典一覧

領域	書体	主要教材
漢字の書	篆書	「散氏盤」「天発神識碑」「臨天発神識碑」(副次的な扱いの教材) 「中山王罍方壺」「篆書崔子玉座右銘四屏」 「礼器碑」「銀雀山漢簡」「敦煌漢簡」
	隸書	「張遷碑/開通褒斜道刻石」 「隸書崔子玉座右銘」「隸書七言聯」「題昔邪之廬壁上」
	行書 草書	「喪乱帖」 「草書諸上座帖卷」「李嶠雜詠」「伊都内親王願文」 長条幅(張瑞図/黄道周/王鐸/倪元璐/傅山)
	楷書	「玄秘塔碑」「楷書前後出師表卷」「鄭長猷造像記」
仮名の書	「秋萩帖」「升色紙」「桂宮本万葉集」 「十五番歌合」「卷子本古今和歌集」 「曼殊院本古今和歌集」「一条撰政集」 「更級日記」「源氏物語抄」「和歌一首」	
漢字仮名交じりの書	會津八一、金子卓義、青木香流、飯島春敬、 川端康成、夏目漱石、太宰治	



p.22-23「楷書」



p.40-41「際立つ個性を楽しもう」



p.50-51「漢字仮名交じりの書作品を味わう」

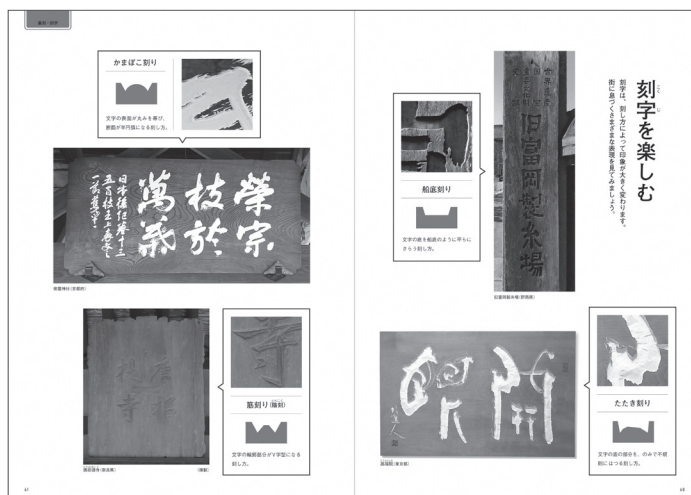
3 社会生活に生きる書

●生活や社会の中の多様な文字や書を掲載しています。

現代の社会生活に生きるさまざまな書の表現と向き合うことで、文字や書と豊かに関わる資質・能力を育成できるよう配慮しました。



p.56「生活の中の書」



p.60-61「刻字を楽しむ」

4 学習をサポートする「二次元コード」

●書に対する興味・関心、理解がぐっと深まります。

目次の「二次元コード」から、スマートフォンやタブレットを使って、「漢字の書」「仮名の書」「漢字仮名交じりの書」「篆刻 刻字」の各分野の多様なコンテンツを閲覧することができます。



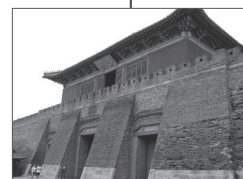
p.2 目次



「漢字の書」では、臨書教材の運筆動画や写真資料など、学習をサポートする豊富なコンテンツを用意しました。



運筆動画



写真資料

2. 対照表

図書の構成・内容		学習指導要領の内容			該当箇所	
		A表現	B鑑賞 ⁽¹⁾	[共通事項] ⁽¹⁾		内容の取扱い
書論とは			ア[ア][イ] イ[イ][ウ]		(1)(3)	表2、p.1
漢字の書	漢字の書の多様性を楽しむ		ア[ア] イ[ア]	ア・イ	(1)(3)	p.4-5
	1 篆書 散氏盤／天発神識碑 中山王罍方壺／ 篆書崔子玉座右銘四屏	(2)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.6-9
	2 隸書 礼器碑／銀雀山前漢簡／敦煌漢簡 張遷碑／開通褒斜道刻石 隸書崔子玉座右銘／隸書七言聯／ 題昔邪之廬壁上	(2)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.10-15
	3 行書・草書 喪乱帖 草書諸上座帖卷／李嶠雜詠／ 伊都内親王願文 長条福を味わう	(2)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.16-21
	4 楷書 玄秘塔碑／楷書前後出師表卷／ 鄭長猷造像記	(2)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.22-23
5 創作する 漢字の書作品を味わう 漢文を書こう [コラム] 書論の背景 王羲之	(2)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.24-28	
仮名の書	仮名の書の多様性を楽しむ		ア[ア] イ[ア]	ア・イ	(1)(3)	p.30-31
	1 平安時代中・後期 字体の違いを捉えよう 秋萩帖／升色紙 桂宮本万葉集／十五番歌合／ 卷子本古今和歌集 書風の個性を捉えよう 曼殊院本古今和歌集／一条摂政集 [コラム] 藤原家 能書の系譜	(3)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.32-39
	2 鎌倉時代以降 際立つ個性を楽しもう 更級日記／源氏物語抄／和歌一首	(3)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.40-41
3 創作する 仮名の書作品を味わう 古今和歌集を書こう [コラム] 書論の背景 松花堂昭乗	(3)ア・イ・ウ	ア[ア][イ] イ[ア][イ][ウ]	ア・イ	(1)(2)(3)	p.42-46	

図書の構成・内容		学習指導要領の内容				該当箇所
		A表現	B鑑賞 ⁽¹⁾	[共通事項] ⁽¹⁾	内容の取扱い	
漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書を楽しむ		ア〔ア〕 イ〔ア〕	ア・イ	(1)(3)	p.48-49
	漢字仮名交じりの書作品を味わう 未来への決意を書こう 文士の手紙 生活の中の書 【コラム】書論を書いてみよう	(1)ア・イ・ウ	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔ウ〕	ア・イ	(1)(3)	p.50-57
篆刻・刻字	篆刻を楽しむ 刻字を楽しむ	(1)ア イ ウ (2)ア イ ウ	ア〔ア〕〔イ〕 イ〔ア〕〔イ〕〔ウ〕	ア・イ	(1)(2)(3)	p.58-61
書道史	中国・日本書道関係地図		ア〔ア〕 イ〔イ〕〔ウ〕		(1)(3)	p.62-65